

## 中国のプラスチック資源循環に、欧米企業は参画

### ◆自動車用途のプラスチックのリサイクル、再生材利用に取り組む

中国・上海で2023年3月、自動車用再生プラスチックに関する基準（「車用再生プラスチック使用規範」）の検討会が開催された。自動車に再生プラを使用する際の一般原則にあたる案と、具体的な樹脂としてポリプロピレンについての基準案が示された。中国自動車工程学会と中国物資再生協会が共同で取り組む技術ガイダンスづくりで、日系、欧米系を含む自動車・部品メーカーのほか、中国コンパウンド最大手・金発科技やSABIC、Exxon Mobile、Covestroなども参加した。

Covestroは21年にポリカーボネート（PC）のリサイクル・再生に関する国家標準の委員会メンバーになるなど、中国に食い込んでいる。22年には、上海拠点でPCをメカニカルリサイクルして再生材を製造する設備を導入し、自動車照明メーカーHASC0 Visionとは製造工程で出る廃PCの回収・リサイクルで協業している。

### ◆軟包装プラなどのケミカルリサイクルの研究・開発も本格化

中国・上海では23年2月にプラスチック循環技術フォーラムも開催された。前半はメカニカルリサイクル再生材の性能向上がテーマで、金発科技や独BASFが添加剤や材料改質技術を紹介した。後半はケミカルリサイクルがテーマで、華潤化学材料科技によるPET解重合など中国国内の技術開発状況が報告された。フォーラムを主催したGRPG（Green Recycled Plastics Supply Chain Joint Working Group：緑色再生プラスチック供給チェーン聯合工作組）は20年6月に設立されており、中国石化や金発科技、リサイクル業の格美林などの中国企業のほか、BASFやCovestro、Dow、SK Chemical、Suez、P&Gなど外資企業もメンバーとなっている。

3月に開催された双会（全国人民代表大会と全国政治協商会議）では、プラスチック包装を複合材から単一素材化することや、フィルムなど軟包装プラの回収・リサイクルを推進することについても提案があったようだ。3月末には国家発展改革委員会が、軟包装プラの再資源化に着目し、廃プラのケミカルリサイクル研究チームを立ち上げた。この研究にも中国石化などの中国勢に加え、Exxon MobileやShell、SABIC、BASFなどの外資企業が参画する。 【長谷川雅史】